

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童くらぶ ろけっと		公表日		R8年 3月 24日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・活動や余暇時間、個別支援等を分けて支援できるスペースを確保できている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・現在では十分な職員配置数である。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			・もう少し配慮できる点があるのではと感じている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・過ごしやすい環境を心がけている。	・もう少し整理整頓を心がけたい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・学習やクールダウン等、他児の活動スペースとは別に行える様にしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・全職員が参加するようにしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・保護者評価で頂いた意見を集約し、安心して預けて頂ける事業所に向けての取り組みを行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・毎朝のクラスミーティング以外に、他クラスとのミーティングも行っている。 ・月1回の全体会議にて行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		・第三者による外部評価を行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・全体会議時に研修やグループワークを行っている。 ・他の研修に参加する機会がある。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・事業所にあった支援プログラムを作成し、全体で周知し実施している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		事業所での様子や自宅及び学校での様子を聞き取りし、本児にとってより良い支援を行える様計画作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・職員全体を意見を集約し計画の立案を行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・スタッフ全員が同じ支援を行う様にしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・児童の特性に応じ支援を行える様に、様々なツールを活用し行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・5領域の内容の沿って支援計画を作成し、その目的に対し具体的な支援内容を設定し実施している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・その日の職員全体で活動プログラムを計画し実施している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・できる限り同じプログラムにならない様工夫している。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・各々の特性を考慮し、状況に応じて臨機応変に支援できる様に計画立案している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・毎朝ミーティングを実施し、昨日の申し送りやその日の支援について話し合いを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・送迎後にミーティングを行い、その日の振り返りにて気づき等を共有できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・日々の記録を作成し、その都度改善項目があれば直ぐに実施できるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・児童の状況に応じて計画の見直しを行い、よりよい支援が行える様にしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		・支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・すべてを職員が決めたことをするのではなく、子どもたちの活動計画や遊びのルールなどの決定を行う支援をしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・管理者もしくは児発管が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・関係機関との連携を常に図れるようにしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		・関係機関との連携を常に図れるようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		・関係機関との連携を常に図れるようにしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		・関係機関との連携を常に図れるようにしている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		・必要に応じて機会を設けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		・年に数回交流の場や合同活動等を行っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		・様々な職員が部会の会議や研修会等に常に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・一緒に子育てして行ける様に常に情報共有を行い支援している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		・できる限りの発信を行い、保護者支援を行っている。	もっと行えるように工夫していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・その都度分かり訳す説明を行っている。	・分かり易く伝えているつもりではあるが、保護者さんの認知度が低い為、もっと理解して貰える様に伝達の工夫をしたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・その都度保護者さんへの聞き取りを行い、その意向に沿った支援を行うようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		・その都度計画案の説明を行い同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・必要に応じて電話相談や対面相談を行い、その状況に応じた助言等を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		・親子レクや合同行事への参加を呼びかけ、その際に様子を見て貰ったり、保護者同士の交流を図って頂いている。	・保護者行事等をあまり行えていない為、今後は行える数を増やしていきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・苦情等あれば直ぐに対応できる体制を整えている。	・もっと周知が必要。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		・毎月通信を発行して保護者さんに認知してもらおうと共に、ホームページにもアップし見てもらえる環境を作っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・十分に配慮し対応している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・意思伝達できる様に配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		・法人で企画し地域の方に参加して頂くイベントの開催を行っている。	・全体では行えているが、事業所の実での実施は出来ていない為、今後検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・必要に応じた訓練等を実施している。	・もっと周知が必要。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・必要に応じた訓練等を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		・連絡ノートや送迎時等に確認を行い、その都度対応を行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・必要があれば指示に沿って対応する様になっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・十分に配慮して支援を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・その都度行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・書面を作成し、全体への周知や今後の対応策等を検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・その都度研修等を実施し、未然に防げるよう対応している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			・今までに実施する必要が無かったが、必要があれば適切に対応していきたい。	